

演劇・映画の専門図書館

公益
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 249(2018年12月) ■

平成 30 年 12 月 10 日発行

「開館 60 周年記念 公益財団法人松竹大谷図書館 歌舞伎記録映画上映会」ご報告



2018年11月15日(木)、歌舞伎座ギャラリー内の木挽町ホールにて、「開館60周年記念 公益財団法人松竹大谷図書館 歌舞伎記録映画上映会」を開催いたしました。今回の催しには、「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」プロジェクトへ5万円の支援をして下さった方々をはじめ、日頃松竹大谷図書館を応援して下さいしている関係機関の方々などをお招きし、総勢60名程の方々にお集まり頂きました。



当日は、歌舞伎座ギャラリーの営業が終了した後、ギャラリーのスタッフのお力も借りて、スタッフ総出で会場の設営準備を行いました。現在、木挽町ホールの舞台には、豪華な『楼門五三桐』の山門のセットが展示してありますが、その舞台の定式幕を閉めた前に上映用のスクリーンが下りるようになっています。



これまでのクラウドファンディングでは、5万円ご支援頂いた方へのリターン(お礼)は、平日の昼間に図書館の書庫をご案内する見学会を開催しておりましたが、今回の上映会は、18時半開始という事もあり、また滅多に上映されない歌舞伎映画がご覧いただけるという事で、多くの支援者の方にご参加頂く事ができました。クラウドファンディングは、通常インターネット上でのやりとりが主なため、こうした機会に支援者の方と直接お会いしてお話ができるのは、とても嬉しいことです。



18時半、お客様がほぼ揃ったところで、まず事務局の武藤より、今回の上映会についてのご挨拶を申し上げ、続いて、「公益財団法人松竹大谷図書館60年のあゆみ」と題して、スライドなどをお見せしながら、設立から60年間の松竹大谷図書館の歴史の一部をご紹介しました。

そして、いよいよ歌舞伎記録映画の上映です。最初に上映するのは明治32(1899)年11月に撮影された『紅葉狩』です。上映の前に、松竹大谷図書館スタッフが、各作品について簡単な解説をしました。



日本人が撮影した現存する最古の日本映画とされるこの『紅葉狩』。九代目市川團十郎と五代目尾上菊五郎という明治の歌舞伎界を代表する俳優の舞台が記録されている点で、映画史的にも演劇史的にも大変貴重な映像です。今回上映した、松竹大谷図書館で管理している「大谷家版」は、昭和25(1950)年に、九代目團十郎の肖像画が文化人切手のシリーズとして発行されたのを記念して編集されたもので、冒頭には戦後昭和25(1950)年に撮影された口上部分が付いており、この当時開催された九代目團十郎の展覧会の様子なども写っています。



続いての上映は『鏡獅子』です。『六代目の鏡獅子』というタイトルでも知られるこの作品は、踊りの神様といわれた六代目尾上菊五郎の舞台を名匠小津安二郎が初のトーキーとして撮った記録映画です。舞踊部分の撮影は昭和10(1935)年6月、歌舞伎興行中の歌舞伎座で、25日の終演後から翌日の10時まで夜を徹して行われたことが伝わっています。また、大正期に建てられた第三期歌舞伎座の外観や場内の様子も、映像で見ることができます。

上映終了後にはお客様から盛大な拍手を頂き、上映会は無事閉会いたしました。帰り際には、名優の舞台を時を経て見られた事へのご感想や、図書館らしい企画であったとお褒めの言葉などを頂戴しました。

このような有意義な会を持てましたことを、ご参加頂きました皆様、そしてご協力頂きました松竹演劇部ならびに歌舞伎座ギャラリーのスタッフの皆様に、深く御礼申し上げます。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 11月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『お江戸みやげ』	○			
	『素襖落』	○			
	『花街模様 薊色縫 十六夜清心』	○		○	○
	『楼門五三桐』	○			
	『文売り』				
新橋演舞場	『隅田川続佛 法界坊』	○			
	『犬神家の一族』	○		○	○
平成中村座 (浅草)	『源平布引滝 実盛物語』	○			
	『近江のお兼』				
	『江戸みやげ 狐狸 狐狸ぼなし』	○		○	○
	『弥栄芝居賑』	○			
	『舞鶴五條橋』	○			
南座	『仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の場』	○			
	『毛抜』	○			
	『連獅子』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
	『御存鈴ヶ森』	○			
	『寿曾我対面』	○		○	○
	『二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎・八代目市川染五郎 襲名披露口上』				
松竹座 (大阪)	『勧進帳』				
	『雁のたより』	○			
博多座	『犬神家の一族』	○		○	○
	『浪漫活劇 るろうに剣心』			○	○
博多座	『あらしのよるに』	○		○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	11月	『右まわりのおとこ』プログラム
大阪新歌舞伎座	11月	『坂本冬美特別公演 泉ピン子友情出演』プログラム
吉祥寺シアター	11月	ala collectionシリーズ『移動』プログラム
紀伊國屋ホール	10月	トム・プロジェクトプロデュース『男の純情』プログラム
国立劇場小劇場	11月	扉座『無謀漫遊記 助さん格さんの俺たちに明日はない』プログラム
	10月	特別企画公演『舞踊・邦楽でよみがえる東京の明治』プログラム 邦楽公演『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
国立劇場大劇場	11月	歌舞伎公演『名高大岡越前裁』プログラム
こまばアゴラ劇場	10月	青年団『ソウル市民』『ソウル市民1919』プログラム
ザ・スズナリ	10月	流山児★事務所『わたし、と戦争』プログラム、台本 劇団ジャブジャブサーキット『ビシバシと叩いて渡るイシバシ君』プログラム
シアターX	11月	新生若獅子プロデュース『上州土産百両首』『螢 お登勢と龍馬』プログラム
シアタークリエ	10月	『おもろい女』プログラム
渋谷区文化総合センター大和田さくらホール	10月	2018伝承ホール寺子屋 カブキ踊り『渋谷金丸丸伝説』プログラム
下北沢OFF・OFFシアター	10月	自転車キンクリートSTORE『ライク・ア・ファーザー』プログラム
下北沢「劇」小劇場	10月	T-PROJECT『ダムウェイター』『ヴィクトリア駅』プログラム
下北沢小劇場B1	11月	大森カンパニープロデュース『いじはり』プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

新国立劇場小劇場	10月	『トミイのスカートからミシンがとびだした話』プログラム
新宿眼科画廊	10月	s o r t i e 『セイラム』プログラム
すみだパークスタジオ倉	11月	劇団チョコレートケーキ『遺産』プログラム
大仙公園芝生広場特設ステージ	10月	世界遺産劇場 百舌鳥古墳群『片岡愛之助特別公演』プログラム
帝国劇場	10月	『新演出版 ミュージカル マリー・アントワネット』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	11月	NODA・MAP『贋作 桜の森の満開の下』プログラム
東京グローブ座	10月	『二十日鼠と人間』プログラム
博品館劇場	10月	『放課後の厨房男子』プログラム
	11月	P a t c h s t a g e 『ボクのシューカツ。』プログラム
本多劇場	10月	KERA-MAP『修道女たち』プログラム
三越劇場(日本橋)	11月	『さよなら、チャーリー』プログラム、台本

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』Vol.98	『華風』2018年12月号
『Confetti』2018年DECEMBER	『喝采』2019年3月
『Confettiかわら本』2018年12月号	『御園座演劇図書館Newsletter』
『THEATRE・MAP』2018年10月	Vol.6,7,8
『TICKETS GO!GO!』Vol.85	『国立演芸場公演ガイド』平成30年12月号
『あぜくら』2018年11月号	『大向う』平成30年11月号,12月号
『えんぶ』2018年12月号	『伝統文化新聞』150号
『ほうおう』2019年1月号	『日本演出者協会協会誌D(ディー)』21号
『ジョイン』No.92	『日本芸術文化振興会ニュース』平成30年12月号
『ステージぴあ』2018年11+12月号	『日本照明家協会誌』2018年11月号
『ステージぴあ関西版』2018年10月+11月号	『日本舞踊』70巻12月号
『ミュージカル』2018年11月-12月号	『悲劇喜劇』2018年9月号
『ラ・アルプ』2018年12月号	『邦楽の友』平成30年12月号
『演劇界』2019年1月号	

■ 映画雑誌 ■

『NFAJニューズレター』2018年10月-11月号,2018年12月-2019年3月号	『ドラマ』2018年12月号
『NFAJプログラム』No.7,8,9	『ロケーションジャパン』2018年12月号
『TVガイド』2018年10/5号,10/19号,10/26号,11/2号,11/9号,11/16号,11/23号,11/30号	『映画テレビ技術』2018年12月号
『おとなのデジタルTVナビ』2019年1月号	『映画撮影』No.219
『キネマ旬報』2018年12月上旬号,12月下旬特別号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.22	『映画時報』2018年11月号
『シナリオ』2019年1月号	『映画論叢』49号
『シナリオ教室』2018年12月号	『衛星劇場プログラムガイド』2018年12月号
	『松竹[社報]』208号
	『日経エンタテインメント!』2018年12月号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『人魚の眠る家』	○	○	○		○
『かぞくいろ RAILWAYS わたしたちの出発』	○	○	○		○
『METライブビューイング2018-19』	○		○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 映画プログラム ■

『生きてるだけで、愛。』 『モダンライフ・イズ・ラビッシュ ロンドンの泣き虫ギタリスト』
『母さんがどんなに僕を嫌いでも』 『ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生』
『イット・カムズ・アット・ナイト』 『日日是好日』 『ハナレイ・ベイ』
『第31回東京国際映画祭公式プログラム』

≫≫ **新規登録資料案内** 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『女優水野久美 怪獣・アクション・メロドラマの妖星』 水野久美+樋口尚文 (著) 洋泉社
『女優山田五十鈴』 美馬勇作 (編) ごふく美馬 (発行)、集英社インターナショナル(制作)
『ニキータ リュック・ベッソンの世界』 リュック・ベッソン (著)、山崎敏 (訳) ソニー・マガジズ
『鳳蘭 宝塚歌劇写真特集 付・「白夜わが愛」 さよなら公演 朱鷺の墓より』 宝塚歌劇団
『藤山寛美 阿呆役者の全て』 アルファ出版部
『舞踊年鑑 2017』 舞踊公演アーカイヴ事業委員会 (編) 日本バレエ協会
『鼓童 2006』 鼓童
『鼓童年間活動報告 2011』 鼓童

≫≫ **資料提供** (2018年10月~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 「新作歌舞伎 あらしのよるにの世界展」 2018年10月5日~11月4日 福岡 PARCO
上演台本(『あらしのよるに』平成27年9月南座・平成28年12月歌舞伎座)を提供
- 「松竹大谷図書館所蔵 3D 浮世絵歌舞伎組上燈籠の世界」2018年11月10日~12月9日 藤沢市藤澤浮世絵館
歌舞伎組上燈籠絵 15点及び関連の辻番付、舞台写真を提供

出版

- 「月刊日本橋」2018年10月号 2018年10月1日 月刊日本橋
演劇プログラム(昭和22年9月三越劇場・昭和26年3月新橋演舞場)を提供
- 『演劇界』2018年12月号 2018年11月5日 演劇出版社
組上燈籠絵(「菅原天神記車引組上ケ五枚続」)及びその組上完成形を藤澤茜氏の連載「江戸芝居百景」に提供
- 『美しいキモノ 2018年冬号』 2018年11月20日 ハースト婦人画報社
スチール写真(『滝の白糸』昭和42年9月新橋演舞場)を岩下尚史氏の連載「東都風流」に提供
- 『松竹グループ社報 208号』 2018年11月20日 松竹株式会社
『松竹社報』129号(1961年1月)を提供
- 『死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館』増山かおり(著) 2018年11月21日 エクスナレッジ
松竹大谷図書館所蔵映画台本他、広報用写真4点を提供

放送

- 「武田鉄矢の昭和は輝いていた 昭和の大女優~田中絹代・原節子・京マチ子」 2018年10月26日 20:00
~20:54 BSテレ東
図書『映画スター全集4』より「琵琶少女歌劇時代の田中絹代」を提供
- 「ごごナマ おしゃべり日和「水谷八重子」」 2018年11月12日 13:00~14:00 NHK 総合テレビ
錦絵「中村座大当 書生演劇 オッペケペー」を提供

その他

- アートマネジメント国際セミナー2018 シンポジウム「メディアの境界を超えた作家泉鏡花 美と幻想の文学・アート・舞台」 2018年11月17日 学習院女子大学
図書『花柳章太郎舞台の衣裳』より花柳章太郎衣裳の写真を提供

藤澤浮世絵館講座 & 展示ご報告

武藤祥子



2018年11月23日(金・祝)に藤澤浮世絵館で、「演劇・映画の専門図書館松竹大谷図書館の活動と所蔵資料」と題してお話をさせて頂いた。藤澤浮世絵館では、11月10日(土)から12月9日(日)にかけ「松竹大谷図書館所蔵3D浮世絵歌舞伎組上燈籠の世界」展が開催されたが、今回の講座はこの展示の関連企画になる。

藤澤浮世絵館は、神奈川県辻堂駅北口から徒歩5分のところにある複合施設ココテラス湘南7階にあり、当日はお天気も良く、入り口を入れて正面の窓からは、富士山がきれいに見えた。会場は、藤澤浮世絵館の多目的室をお借りし、前半は当館の概要、利用方法、そして資料について、特に歌舞伎や松竹映画の資料の特徴をご説明し、後半は当館が所蔵する組上燈籠絵の特徴や面白さを、組上燈籠復刻版の試作品を製作した時の作業を例として、スライドを使ってご紹介した。会場には34名の方が来てくださり、最後には当館の資料に関するご質問などを受け、無事一時間の講座を終了した。



終了後は、藤澤浮世絵館の学芸員の方が展示を解説しながら一緒に回って下さる、という贅沢な時間を過ごす事が出来た。藤澤浮世絵館は、東海道五十三次の各宿場や藤沢宿、そして近隣の江の島を描いた浮世絵を多数所蔵しているが、そのコレクションを展示した「東海道五十三次」「藤沢宿」「江の島」という3つのコーナーを回り、最後に今回組上燈籠が展示されている企画展示コーナーを見るという順路である。

まず、「組上燈籠」の企画に合わせて展示替えが行われた「東海道五十三次」コーナーでは、東海道の宿場の風景と名物を背景などに描いた役者絵「役者見立東海道五十三駅」が、また「藤沢宿」コーナーでは「大山詣で」の役者絵が展示してあり、歌舞伎ファンには堪らない内容であった。

いよいよ、企画展示コーナーの『松竹大谷図書館所蔵3D浮世絵歌舞伎組上燈籠の世界』を案内して頂くと、当館から展示提供した「組上燈籠絵」とその組上完成形、関連の舞台写真、番付と共に、「組上燈籠」と同じ演目や登場人物が描かれた藤澤浮世絵館の浮世絵や役者絵などが展示してあり、歌舞伎の同じ演目を様々な表現の浮世絵や関連資料で楽しむことが出来る、大変充実した展示であった。

特に当館の「頼朝富士之牧狩」の組上と、藤澤浮世絵館所蔵の「源頼朝公富士之裾野牧狩之図」(歌川国久)が並べて展示されているところは圧巻であった。牧狩りの最中、突然飛び出してきた大猪に踏みつけられ、跳ね飛ばされた頼朝の家臣たちとその大猪を退治する仁田四郎、という有名な場面。これを組上の完成形と浮世絵とは、同じ場面を異なった構図で表現しており、まるで俯瞰と寄りの別角度で撮影したVTRを鑑賞しているかのような、大変ドラマチックな展示となっていた。

会場では、完成形が少し高い位置に「八百屋飾り」(手前を低く奥を高く、斜めに飾った舞台の事)で展示してあり、さらに立体感や奥行を感じさせるように工夫がしてあった。その他にも色々な工夫が凝らされており、



例えば当館の復刻版でもおなじみの「車引」は、後方から照明に照らされて、組上燈籠に明かりを入れたという昔の遊び方が再現されていた。また、「め組のけんくわ」と「宇治川合戦先陣あらそい」は、見る角度によって組上と影が変化する様子を表現するため、丸いターンテーブルに設置され、モーターで回るように工夫されていたが、残念ながら訪問した時は調子が悪く、自動ではなく、手で回して影が動く様子を見せて頂いた。そして「忠臣蔵討入」では、上から5ミリ四方の雪を降らせる装置が設置されていたが、見学時は、ちょうど雪が全部降ってしまった後だったので、積もった雪を息で吹いて演出を凝らしてみた。

今回の企画展では、藤澤浮世絵館の皆様の様々な工夫に満ちた展示により、ご来館頂いた方には、浮世絵として、そして玩具としての組上燈籠の楽しさを体感して頂けたのではないかと思います。いずれまたこのような機会を得て、組上燈籠の魅力を発信できたら、と思っている。

紙資料修復工房見学記

2018年11月29日
武藤祥子・井川繭子



中庭からみた工房

今年のクラウドファンディングプロジェクトの支援金により、現在補修を行っている「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料（通称【音貞アルバム】）」。その補修作業が行われている様子を見学させていただけるとのことで、紙資料修復工房をお訪ねした。

JR三鷹駅よりバスに乗って8分、三鷹の森ジブリ美術館に程近い閑静な住宅街の中に、紙資料修復工房がある。中庭に面して外光を取り入れた工房は明るく清潔でとても居心地がよい。

【音貞アルバム】をお預けしてまだひと月余りしか経っていないが、補修作業は着々とすすんでいる。【解体】【ドライクリーニング】【スポットテスト】【脱酸性化処置】【補修】の工程のうち、現在は脱酸性化処置の工程に入っているところだった。プロジェクトの新着情報に上げるために、以前から写真付きで進捗状況のご報告を受けていたので、ある程度想像はできていたのだが、作業現場で実際に見せていただくと、また一層臨場感がある。



ドーム付サククションテーブル

工房の中で一際存在感のある装置が目についたが、これはドーム付サククションテーブルという。酸化・酸性化して古くなった紙はごわごわしているので、脱酸性化処置やフラットニングなど水分を使用する処置工程ではいきなり水分を与えても浸透せず撥水してしまう。そこでこの装置の穴のあいた天板に資料を置いて、上から細かい水分（超音波ミスト）を与えて下から吸引することで、紙を平らにして紙の中に成分を浸透しやすくさせる処置を行う。【音貞アルバム】は紙の台紙に写真や葉書が貼ってあったり、部分的に手書きの書き込みが入っていたりするなど様々な素材が入っているので、それぞれに対応した処置が必要である。場合によっては顕微鏡も使って素材や成分を見極めてから処置を行うこともあり、常に慎重な方法が求められる繊細なお仕事なのである。



台紙に超音波ミストを少しずつ噴射

解体・クリーニングが済んだ【音貞アルバム】は、一枚一枚ばらばらになった台紙を、特種東海製紙社製のピュアマットというボードの上に乗せて、そこに炭酸水素カルシウム水溶液飽和溶液を超音波ミストを用いて少しずつ噴霧しては乾かす、という工程に入っていた。この作業を何度も何度も繰り返し、紙の状態を確かめながら pH 値 7.5 程度に少しずつ上げていくことで、水性脱酸性化処置をゆるやかに促す処置である。この方法は資料への負担も少ないが、台紙 1 頁につき毎日 4 回合計で 50 回も処置を行うというから、大変手間も時間もかかる方法である。この丁寧な処置のおかげで、もともと酸性に傾いていた【音貞アルバム】も、現在はだいぶ中性に近づいているとのことで、処置中とはいえ見た目にもきれいになっていて別人の様に見えた。

私たちが驚いたのは、使用しているごく弱いアルカリ性の水である炭酸水素カルシウム水溶液飽和溶液もその都度手作りされているということである。炭酸水素カルシウムという酸性物質を吸着する働きのある成分を水に溶かして作るのだが、この物質はただ混ぜただけでは溶けず、そこに二酸化炭素を入れて圧力を加え冷やすと溶けるという性質がある。作るところも実演していただいたが、炭酸水メーカーに入れた溶液を冷蔵庫で冷やし、20 分経ったら取り出して振る作業を一日中繰り返して作るそうだ。こうして手作りした炭酸水素カルシウム水溶液飽和溶液は、イオンを調整して中性化した水でさらに薄めて超音波ミストにして使う。処置を行う資料の pH 数値（水素イオン指数）を計って状態を確かめながら、それに合わせて超音波ミストのアルカリ濃度を調整していくという、大変細やかな作業が根気強く行われていた。

他にも大型冷凍庫の中には、和紙の原料となる楮（こうぞ）やみつまたや雁皮（がんび）の繊維などが生の状態で保存されていた。原料から手作りすることで、余分な添加物などを加えず天然の成分だけで補修ができるというが、手間を惜しまないその姿勢に感動を覚えた。こうした恵まれた環境のもとで修復された音貞アルバムは、状態も回復して今後も永く保存することができるだろうと実感した。こちらに修復をお願いして本当に良かった、と安心して工房をあとにした。

● お知らせ ●

11月21日に発売された(株)エクスマレッジ『死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館』の「CHAPTER3 親しみやすいジャンルから文学を知る」に、松竹大谷図書館が掲載されております！この本では、一人の作家の世界にどっぷりと浸れる文豪の記念館から、様々な作家たちに出会える文学館、そして、マンガやアニメ、映画や演劇など多様なジャンルの資料が閲覧出来る施設が写真付きで紹介され、外観をはじめ展示の紹介はもちろん、それぞれの館のオリジナルグッズの紹介も載っており、お散歩コースのガイドブックにもぴったりです。書店で見かけましたら、ぜひお手にとってご覧くださいませ。



■ **年末年始休館のお知らせ** ■
 平成30年12月27日(木)より
 平成31年1月10日(木)まで
 年末年始のため休館いたします
 平成31年1月11日(金)より
 通常開館いたします

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2018（平成30）年11月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

勘亭流書道研究会

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



● **利用案内** ●
開館時間
 平日午前10時～午後5時
休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ

● **交通案内** ●
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



▶先月より京都南座で顔見世興行が華々しく行われております。当館閲覧室内ではこの南座に関連する資料を展示中です。展示期間は12月26日までです。ご来館お待ちしております！

▶早いもので、今年も残り一か月を切りました。本年中は大変お世話になりました。一年を通して無事に図書館の業務を遂行できましたのも、ひとえに皆様のお力の賜物です。ありがとうございました。どうぞよい年末年始をお過ごし下さい。